

# 令和5年度

## 三田市 認知症地域支援推進員活動報告

### 認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：7名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症の人への効果的な支援を行うために、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図る。

（令和5年度三田市認知症施策推進事業業務委託仕様書より抜粋）

- ①地域包括支援センターの職員の対認知症ケアのスキル向上  
及び認知症ケアに携わる多職種協働のための研修事業
  - ア.認知症疾患医療センター等と連携して、認知症ケアに関する講習等の企画・実践
  - イ.認知症ケアにおける多職種協働の重要性等を習得する認知症多職種協働研修を開催

報告者氏名：寺坂梨沙 吉崎乃里子

## ②認知症関係の事業を実施する関係機関・団体等との連携

ア.認知症疾患医療センターの機能への参加

イ.認知症疾患医療センターとの情報交換

ウ.認知症疾患医療センターが開催する医療連携協議会への参加

エ.市医師会など関係機関とのネットワークの構築

オ.かかりつけ医、サポート医、専門医療機関との連携

カ.介護保険サービス事業所等との連携

キ.関係機関への広報

## ③地域の実情に応じて認知症の人やその家族を支える事業の実施

ア.もの忘れ相談の実施

イ.認知症の人及びその介護者等を支援するための「つどいの場（認知症カフェ）」づくりや交流会開催の検討

ウ.若年性認知症の人への適切な支援の検討、実施

## ④その他

- 認知症に関する正しい知識の普及啓発、地域支援体制構築等の企画調整
- 認知症ガイドブック（ケアパス）の有効活用のための普及啓発及び改訂の検討 等

# 三田市 認知症施策全体図

※ 令和5年1月1日「三田市認知症の人と共に生き支え合うまちづくり条例(略称:認知症共生条例)」を制定

## 三田市 いきいき高齢者支援課

認知症高齢者家族支援サービス

- ①GPS貸与 ②SOSネットワーク登録
- ③認知症個人賠償責任保険(R3年9月～)

相談・支援

情報共有

## 三田市地域包括支援センター【基幹型】

< 認知症地域支援推進員 1名 >

- ・認知症疾患医療センターとの連携、関係機関とのネットワーク構築
- ・もの忘れ相談・介護者交流会
- ・認知症サポーター、キャラバン・メイト養成講座の企画、開催
- ・若年性認知症支援の連携体制づくり
- ・認知症の個別相談、ケアパスの普及啓発
- ・タッチで脳の健康チェック
- ・認知症地域支援推進員の総括
- ・[認知症地域支援推進員連絡会の開催](#)
- ・[チームオレンジ立ち上げ支援](#)
- ・認知症初期集中支援チーム(兼務) 等

情報提供・支援 相談・事例提供

## 地域包括支援センター【6カ所】

< 認知症地域支援推進員 6名 >

- ・認知症の個別相談・他推進員との連携
- ・認知症理解のための普及啓発
- ・認知症カフェ立ち上げ支援
- ・認知症サポーター養成講座の開催 等

連携

- ・三田市権利擁護・成年後見支援センター
- ・障害者総合相談窓口「きいてネット」
- ・地域福祉支援員

## 認知症疾患医療センター(兵庫中央病院)

【専門医療相談・鑑別診断】

もの忘れ相談

初期集中支援チーム

連携

専門医療の提供

## 本人・家族

相談・支援

普及啓発・生活支援

## 市民・ボランティア団体

- ・認知症サポーター
- ・認知症キャラバン・メイト
- ・認知症カフェ
- ・家族介護者の会
- ・権利擁護サポーター 等

相談・支援

## 医療

認知症対応病院

認知症サポート医

認知症相談医

かかりつけ医

相談援助連携

医療の提供

在宅生活の支援

## 介護保険事業者: 居宅・地域密着サービス等

- ・認知症対応型通所介護
- ・認知症対応型共同生活介護 等

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

# 地域共生社会・認知症バリアフリーに向けた取組

市内全包括に認知症地域支援推進員  
(以下推進員)が配置されたけれど…

包括相談員と兼務しながら推進員の  
役割を意識し、どのような活動を進めて  
いけば良いかわからないと不安の声あり。



“推進員同士の交流・情報共有の場”  
として推進員連絡会を年4回開催

市いきいき高齢者支援課、認知症疾患医療  
センター相談員も参加し活動展開への学びの  
場とした。

## 【成果】

- ① 推進員が主体となり市内10カ所での認知症啓発展示を開催
- ② 地域福祉支援員と連携し学校での認知症サポーター養成講座を展開
- ③ 市民向け健康講座「知る見る聞く認知症」へ協力参加 など



## サポーター養成講座



## 認知症啓発展示

# 地域共生社会・認知症バリアフリーに向けた取組

推進員の取組みはその他にも・・・

市長も参加！

地域イベントにて  
体力測定＆脳の健康check



オレンジ  
ガーデニング  
プロジェクト  
始動



推進員  
PRチラシの作成



市人権を考える会  
にて認知症に関する  
講話

# 地域共生社会・認知症バリアフリーに向けた取組

## 【市民向け健康講座の開催】

令和5年度 市民向け健康講座

知る 見る 聞く

# 認知症

参加無料

9月25日(月)

認知症への理解を深めませんか

会場：三田市総合福祉保健センター

事前申込必要

メイン会場 1階 多目的ホール

1部 定員 100名

9:30 受付

10:00 講演 『認知症予防に役立つ生活スタイル』  
 神戸大学大学院 保健学研究科 山内クワアーツセンター 教授 岡田大学認知症予防推進センター長 講師 吉和 久朋 先生  
2017年より神戸大学保健学研究科教授、認知症の「共生」と「予防」を推進して多くの研究、活動を行われている。

11:00 講演 『デュアルタスク(二重課題)トレーニングのススメ』  
 社会福祉法人 三原会 サンヒルズ八幡1番館 作業療法士 北口 寛盛 先生

13:30 受付

14:00 講演 『認知症についての理解』  
 特定非営利法人 認知症連携 兵庫県中央病院 認知症連携推進センター センター長 講師 山崎 浩 先生  
認知症認知症連携推進センターである認知症連携推進センター長として11年より就任。

14:55 VR認知症体験 株式会社 シリバーウッド VR開発部  
バーチャルリアリティ (VR) の設備を活用し、認知症の症状を体験するプログラムです。

16:30 閉会

2部 定員 60名

講師 吉和 先生

講師 北口 先生

講師 山崎 先生

当日参加

サブ会場 1階 第1・2会議室

10:00～15:00

先着 50名

『タッチde脳の健康チェック』タブレットによる脳の健康度を判定します。  
※「のうSHOW」は健康の不安を解消し、認知症の予防に役立つ健康意識の向上を目的としています。

『デジタル体力測定～モフトレ・チェック～』  
 協力機関：神戸大学認知症予防推進センター  
株式会社MIRAIが発売したセンサーバンドを腕に装着し、正確な数値を自動で記録。その場で測定結果を把握できます。

認知症の基本的な知識を幅広い世代に普及・啓発するための講演会やVR認知症体験などを9月アルツハイマー月間に開催。

メイン会場での講演会の他、サブ会場ではデジタル体力測定&脳の健康度測定を実施。同時に認知症啓発ポスター展示や福祉用具の展示会を行った。

行政、認知症疾患医療センター、地域包括、推進員が連携。また、認知症サポーターやキャラバン・メイトにも“学びの場”として研修参加&運営協力をいただいた。(延べ283名参加)



# 地域共生社会・認知症バリアフリーに向けた取組

## 【オレンジランプ上映会】

**オレンジ・ランプ**  
 真田登志子 和田正人  
 伊達由紀 山田由人 高橋真生子 幸島高成 中尾くるみ  
 監修 川口和夫 主演 真田登志子 和田正人 伊達由紀 山田由人 高橋真生子 幸島高成 中尾くるみ  
 上映期間 12月13日(土)～15日(月) 13:30～15:45 (開場13:00～)

**参加費 無料**

**39歳、パパが認知症!?**  
 どうする、私!!

三田市内在住・在学・在勤の方  
**先着 200名**

それは、温かな灯りが続いた感動の実録

認知症地域支援ケア向上事業  
**オレンジ・ランプ特別上映会**

日時：令和6年1月13日(土)  
 時間：13:30～15:45 (開場13:00～)  
 会場：三田市総合福祉保健センター 1階 多目的ホール  
 申込期間：令和5年12月1日(金)～令和6年1月11日(木)

※当日までに定員に達した時点で締め切らせていただきます。予約が満了次第、先着順に受付させていただきます。  
 ※要約筆記・手話通訳を希望される方は、12月26日(火)までに申し込みください。(要約は定員次第)

12月13日(土)上映された映画「オレンジ・ランプ」の撮影を支援する企業として、夫が認知症という経験をした経験者、  
 年齢を重ねていく中で大切な人への向き合い方を学びたい方など。

主催 三田市地域包括支援センター  
 共催 三田市認知症支援推進員会  
 協賛 三田市認知症支援推進員会  
 後援 三田市認知症支援推進員会  
 協賛 GAGA

【お問い合わせ】webフォーム、電話、FAX、Eメール、窓口のいずれかで必ず申し込みください。  
 ☎ 079-559-5941 ☎ 079-559-5707 ✉ houkatsu@sanda-shakyo.or.jp



本人希望大使

映画のモデル  
 丹野智文氏から  
 三田市の皆さん  
 へメッセージ



「若年性認知症についてもっとみんなに知ってほしい！」市内男性介護者の会代表からの声をきっかけに上映会を開催。当日は当事者団体や認知症カフェ代表による活動報告もあり。小学生の子を連れてご家族、夫が認知症だという高齢女性など様々な世代が上映会に参加。きっかけ作りをしてくださった男性介護者の会代表と丹野さんとのご縁で市民においてビデオメッセージをいただきました。(156名参加)





## 推進員活動を通して感じたこと

- ・ **推進員連絡会**を開催することにより、推進員同士の交流や協働での活動展開を図ることができた。さらなる推進員活動の発展に向け、今後は認知症に関する勉強会や事例検討会の場としても活用していく。
- ・ 「認知症になりたくない、認知症は怖い」という声は変わらず多い。しかしながら、普及啓発を続けていくことで様々な世代から認知症へ関心を寄せてもらうきっかけとなり、「自分にできることがあれば活動に関わりたい」と認知症カフェ運営者とコーラスグループがつながる等“**地域における人とのつながり**”を実感することができた。
- ・ 普段から地域でのつながりづくりに携わる推進員の働きかけにより、地域イベント&認知症啓発のコラボが実現できた。今後も地域の魅力や力を見つけながら、地域と一体となり**認知症とともに歩む・認知症の方が笑顔で過ごせる居場所づくり**に努めたい。

## 今後について

- ・ 三田市における“**チームオレンジ**”の構築ミーティングへの参加、立ち上げや運営のための支援実施（R6年度）
- ・ 認知症のご本人が活躍できる場の創出

推進員活動に必要なのは「一人で抱えず、ともに活動を楽しめる仲間を見つけること」だと感じています。これまでの活動が実を結び、仲間となってくださった皆さんとともに“誰もが自分らしく暮らせる共生のまち”を目指したいと思います。